

# 第1期綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証

## 1. 第1期綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の背景

- ◎平成26年、国において「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定
- ◎本市も、2060年（令和42年）までを対象期間として将来展望を描く「人口ビジョン」と、平成27年度～令和元年度を期間とする「綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定

## 2. 第1期の「人口ビジョン」及び「総合戦略の4つの基本戦略」の数値目標の検証

### 【人口ビジョン】

- ◎2020年（令和2年）の「目標人口」を32,271人と設定していたが、京都府推計人口月報（2020年（令和2年）10月1日時点）において、人口が31,689人となっており、目標を582人下回り、目標は未達成
- ・定住世帯数（定住サポート総合窓口扱い）は、令和元年度末で累計242世帯、582人に上り、社会動態の減少幅の抑制に寄与。また、子育て世帯の転入により、0～19歳も139人の転入があり、少子化の進行を緩和

### 【総合戦略の4つの基本戦略】

- ◎基本戦略1に係る目標指標である市内事業所従業者数は、2016年度（平成28年度）時点（経済センサス活動調査（H28））で15,063人となり、目標値の15,000人を達成  
※工業団地立地企業の増棟や新たな企業進出など、引き続き、企業活動は旺盛
- ◎基本戦略2に係る目標指標である人口の社会動態は、ややマイナス幅が減少傾向にあるものの、2019年（令和元年）においても△84人となり、転入者・転出者の人数を均衡するという目標は未達成  
※令和元年は、福知山市・舞鶴市から転入超過となっているが、京都市・大阪市・神戸市へ転出超過。年齢区分では、高等教育終了後の就職に伴う20～24歳（△42人）の転出超過が多い  
※社会動態：△167人（H27）、△108人（H28）、△118人（H29）、△51人（H30）、△84人（R元）
- ◎基本戦略3に係る目標指標である合計特殊出生率については、国（1.43）や京都府（1.32）の数値を上回ったものの、1.62となり、1.7の目標は未達成  
※出生数：214人（H27）、205人（H28）、218人（H29）、220人（H30）、160人（R元）
- ◎基本戦略4に係る目標指標である市民満足度は、54.3で基準値52.4を上回ったものの、10%増の57.6という目標は未達成

### 3. 総合戦略の「KPI（重要業績評価指標）」の検証

◎総合戦略の基本戦略に掲げた46のKPIのうち、達成区分が「①100%以上」の指標は21(45.7%)、  
「②80%以上100%未満」の指標が10(21.7%)となり、80%以上の指標が全体の67%

《主なもの》

#### 【基本戦略1】

チャレンジショップ支援事業費補助金交付件数（累計）45店（目標：31店、達成率145.2%）

UIターン介護人材確保事業就職・定住者数（平均）2人（目標：5人、達成率48.0%）

#### 【基本戦略2】

日帰り観光客数（平均）584千人（目標：550千人、達成率106.1%）

宿泊観光客数（平均）57千人（目標：65千人、達成率87.3%）

#### 【基本戦略3】

婚活イベントでのカップリング数（平均）16組（目標：10組、達成率162.0%）

保育所、幼稚園、認定こども園への希望者の入所・入園率（平均）99.9%（目標100%、達成率99.9%）

#### 【基本戦略4】

新設住宅戸数（平均）175戸（目標：130戸、達成率134.9%）

あやバス乗車人数（平均）206,178人（目標：216,000人、達成率95.5%）

### 4. 第2期総合戦略の推進

◎第1期総合戦略が終了することに伴い、地方創生に向けた施策を切れ目なく推進するため、令和2年3月に第2期総合戦略（計画期間：令和2年度～令和6年度）を策定するとともに、人口ビジョンについても改訂

◎第2期総合戦略では、高速道路網の結節点や京都舞鶴港の後背地であること等の優位性を生かした新たな企業進出の促進、新たな子育て拠点施設や図書館整備などの子育て環境の充実、綾部市とのつながりを築く関係人口の確保や移住・定住の促進等を推進

◎新たな課題へ対応するとともに、大規模災害や新たな感染症の発生といった都市部の人口集中による弊害が露呈する中で、人々の田園回帰の流れの高まりなど、時流に応じて計画を見直し